「日本ねじ研究協会研究論文集」原稿テンプレート（和文表題・14ポイント）

Template of Transactions of the JFRI（英文表題・12ポイント）

日本　太郎（ねじ大学）　　　　　螺子　花子（ねじ産業(株)）

研究　一郎（フランジ大学）（10ポイント）

Taro HINOMOTO, University of Neji, 15 Yuraku-cho, Chiyoda-ku, Tokyo（9ポイント・所在地は一部または全ての省略可）

Hanako NEJI, Neji Industries, Taito-ku, Tokyo

Ichiro KENKYU, University of Flange, 5-1234 Odawara-shi, Kanagawa

Received: XXXX; Revised: XXXX; Accepted: XXXX

Abstract

（行頭は字下げしない）The length of the abstract should be 200-300 words. In the beginning of the abstract, the subject of the paper should be stated clearly, together with its scope and objectives. Then, the methods, equipment, results and conclusions in the paper should be stated concisely in a sufficiently logical manner. The discussion on the results may also be stated to emphasize their importance appropriately.

Key Words: Neji Symposium, Template, Example（9ポイント・3から5個程度・前置詞及び冠詞は含めない）

1. 原稿の書き方

　「日本ねじ研究協会研究論文集」原稿の書式は，この原稿見本に示すとおりです．書式統一のため，原稿の執筆には，当会が用意したMicrosoft Word（以下，MS-Word）用テンプレートをできるだけご利用ください．

　テンプレートには，原稿中に必要となるスタイル（書式設定，段落設定等の文章の見栄え）が既に登録されています．所定の位置に文書を入力後，文書に該当するスタイルを適用してください．

2. 原稿用紙のサイズとページ数

　A4サイズの用紙に上下各2 cm，左右各1.5 cmの余白をとり，「日本ねじ研究協会研究論文集」投稿規則に記載の原稿の種類（論文または総説）に応じて規定されるページ数で作成してください．

3. 文書中で使用するフォント

　文書中に使用するフォントは，原則的として，表1に従い，章節項や本文等に別に応じて使い分けてください．なお，代表フォントは，テンプレートのスタイルに登録された実際のフォント名を示しています．

Table 1 原稿中で使用できるフォント一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 見出し・題字  （代表フォント） | その他・本文等  （代表フォント） |
| 日本語 | ゴシック体  （MSゴシック） | 明朝体  （MS明朝） |
| 英語（数字） | セリフ系  (Times New Roman) | セリフ系  (Times New Roman) |

4. 表題（センタリング）

　日本語及び英語（必要に応じて）の表題を入力します．日本語のフォントはMSゴシックの太字14 pt，英語のフォントはTimes New Romanの太字12 ptをご使用ください．副題がある場合には，主題と同じ書式で入力してください．表題が長い場合は，フォントの大きさを適宜調整してください．

　原稿は単独で完結したものであるとし，第1報，第2報という表題は極力避けてください．

5. 著者名・所属（センタリング）

　邦文氏名の右には所属を丸括弧で囲み，特定に支障がない程度に略記してください．特に，大学は大と，大学院は大院と，株式会社や有限会社は無記とすることを原則とします．邦文氏名にはMS明朝10 pt，英文氏名にはTimes New Roman 9 ptをご使用ください．また，英文氏名には，所属機関の名称と所在地を記載してください．

6. 見出し（章・節・項）

　日本語のフォントはMSゴシックの太字9 pt，英語のフォントはTimes New Romanの太字9 ptをご使用ください．

7. 本文

　文章は2段組とし，中央に1.0cmの空白を設けてください．日本語のフォントはMS明朝9 pt，英語のフォントはTimes New Roman 9 ptをご使用ください．1ページあたりの文字数が片段26字（または左右8.5cm）×60行×2列=3120程度となるように，文字間隔ならびに行間隔を設定してください．

8. 図表

8.1 一般事項

　図表は縮小しすぎると文字が読めなくなりますので，ご注意ください．写真は図として扱います．カラー掲載が可能です．

8.2 タイトルと説明

　図表のタイトル及び説明は英文（図表内を含む）で記載してください．またそれらは，図についてはその下にFig. 1 ＊＊＊のように，表についてはその上にTable 1 ＊＊＊のように書いてください．

8.3 本文での言及の仕方

　本文で図表を言及する際は，図1，表1のように日本語で書いてください．

9. 記号・単位・数量・数式

1. 単位記号は，ローマン体とする．量記号は，原則としてラテン語またはギリシャ語のアルファベット1文字とし，イタリック体とする．量記号には添え字を付けることができ，物理量または順序数のような数学的変数を表す文字はイタリック体とする．その他の，例えば単語または数字を表す添え字はローマン体とする．
2. 単位記号，数学記号及び量記号は，半角英数字を用いて表す．
3. 単位は，原則としてJIS Z 8000-1（量及び単位－第1部：一般），並びに量及び単位の各個別規格であるJIS Z 8000-3からJIS Z 8000-12に規定する国際単位系（SIと併用を認めている単位を含む）に従う．
4. 数学記号は，原則としてJIS Z 8000-2に従う．
5. 量記号は，可能な限りJIS Z 8000規格群によることが望ましい．
6. 暦年の表し方は，昨年，本年などとせず，2023年のように西暦で明確に記述する．
7. 文章と同じ行中にある式の書き方は，表2の例に従う．
8. 別行に示す式の書き方は，式(1)の例のように中央揃えで式を置き，右揃えで式番号（番号は原則として1始まりの連番とし，丸括弧で囲む）を置くようにする．※本テンプレートでは，このような表示を，式(1)を枠線のない1行2列の表を利用して構成することで実現している．MS-Wordで式(1)付近をクリックし，「レイアウト」タブをクリックし，「表」区分中の「グリッド線の表示」をクリックして表示を切り替えると，見えない枠線が灰色の破線（印刷されない）で表示される．新しい式を書く際は，式(1)を表ごとコピー・貼り付けし，これを利用して始めると便利である．なお，ここでの式番号は，全文を選択（Ctrl + A）し，選択された範囲を右クリックして「フィールド更新」をクリックすると，登場順に連番が自動的に振り直される．
9. 式中の括弧の順序は，式(1)のように内側から丸括弧，角括弧，波括弧とする．
10. また，本文で式を引用するときは，式(1)のように書く．
11. なお，本文と式，式相互間は極力1行以上の空白を空けて，見やすくする．
12. 原則として数式のポイント数は本文に準じるものとするが，添え字等が小さく読みにくくなるときは適宜拡大する．
13. 数学記号，数量記号及びそれらを含む数式に限り，表示の同一性を確保するために，Times New Romanの代わりにCambria Mathのフォントを使用しても良い．※近年のMS-Wordでは以前あった数式3.0が廃止されており，Times New Romanに類似したフォントを数式等に適用することが困難となっている．

Table 2 文章中における式の書き方の例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| [°C] | [kg/m3] | [J/(kg·K)] |
|  |  | ×103 |
| 0 | x.xxx x | x.xxx |
| 10 | x.xxx x | x.xxx |
| 20 | 1.176 3 | 1.007 |
| 30 | x.xxx x | x.xxx |
| 40 | x.xxx x | x.xxx |
| 50 | x.xxx x | x.xxx |

|  |  |
| --- | --- |
|  | (1) |

10. 参考文献

　文献を引用する場合には，本文中の引用箇所の右上に小括弧を付けた番号(1)で表し，本文の末尾に例示しているようにまとめて文献を列記してください．

11. その他

　和文の他に英文での投稿も可能です．その場合は，和文の表題・著者名・所属は省略しても構いません．

　提出原稿のファイルは，PDF化したファイルと元のMS-Wordファイルの両方としてください．

　送付先は，以下とします．件名を「日本ねじ研究協会研究論文集への投稿」として電子メール送信してください．

・ 日本ねじ研究協会　E-mail: contact@jfri.jp

　原稿に関する電子メールの到着日をもって原稿受理日とします．なお，原則として，10日以内に受理完了の旨を電子メール返信にて連絡します．

参考文献

1. 螺子花子, 六角次郎, ねじ面摩擦係数及び座面摩擦係数の云々の調査, 日本ねじ研究協会研究論文集, 1-1 (2023), 99.
2. 日本・他2名, ねじ研研究論文集, 1-2 (2023), 99.

↑[著者名], [文献題目], [雑誌名], [巻-号 (発行年)], [先頭ページ数].

※上記のような項目をカンマで区切り最後にピリオドを打つ．紙面に余裕かなければ，(2)のように文献の特定が困難とならない程度に文献題目を省略する，著者名と雑誌名を略記する等しても良い（紙面に余裕があれば(1)のように記載することを推奨）．(発行年)の直前にはカンマを設けない．